シアル化糖鎖抗原 KL-6	7314500
	担当部署
KL-6	生化

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		特記事項なし
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→免疫・自己抗体→
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		特記事項なし
検査受付時間		8：15～16：00

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	特記事項なし
検体採取の特別なタイミング	特記事項なし

検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-

検体搬送条件	室温
検体受入不可基準	1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体
保管検体の保存期間	冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階　中央検査部				
測定時間	当日中～翌日				
生物学的基準範囲	105.3～401.2U/mL ナノピア KL-6 添付文書				
臨床判断値	設定なし				
基準値				単位	U/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
105.3	401.2	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	設定なし			
	低値	設定なし			
生理的変動要因	特記事項なし				
臨床的意義	KL-6 は 1985 年に河野らが発見したシアロ糖蛋白抗原であり、Ⅱ型肺胞上皮細胞等に発現する分子量 100 万以上の巨大分子で、クラスター9 に分類されている MUC-1 に属するムチンである。 間質性肺炎で血清中の KL-6 値は、健常者及び他の呼吸器疾患に比較して有意に高く、また、ROC 分析において、血清中の KL-6 値は診断的有用性が高い指標であることが確認されている。 さらに、血清中の KL-6 値は間質性肺炎の活動性症例では非活動性症例に比較して有意に高いことから疾患活動性の把握に有用性が認められ、経過観察症例においても間質性肺炎の病態を反映して推移することが認められている。 ナノピア KL-6 添付文書				